

主保護司だより

朝霞地区保護司会(朝霞/志木/新座/和光)

Vol.
10

May.2025



まずは知ってもらうことから

【保護司って誰?】

保護司とその関係者

【特別インタビュー】

立教大学BBS会

【朝霞地区保護司会の皆さんへ】

挨拶・活動報告・表彰者一覧etc

Next page / 「保護司とその関係者」

保護司って誰？

Who is Hogoshi?

どんな立場

保護司法に基づいて、法務大臣から委嘱された非常勤の国家公務員ですが、給与はありません。

刑務所には刑務官、保護観察所には保護観察官と公務員として、犯罪をしてしまった人に向き合う仕事はありますが、保護司は民間人としての立場で、保護観察対象者に向き合い、心を開いてもらえるよう活動しています。

保護司の職業

保護司はボランティアで給料が出ないため、保護司の活動中以外は、様々な仕事に就いている人がいます。例えば、朝霞地区保護司会では、会社員や自営業、僧侶、農家、主婦などがいます。

保護司会

保護司は、保護司の活動をしやすくするために、地域ごとに寄り集まり、保護司会というグループを作っています。保護司会では、情報交換や研修会、啓発活動などを行っています。

保護司の課題・困りごと

一例として、保護司の数が年々減っています。理由は、少子高齢化の進行や、ボランティアに携わる人の減少、家族の理解が得られないなど様々な理由があります。

どうしたら保護司になれるの？

地域に住む人が保護司をしています。ボランティアで、特別な資格などは必要ありません。働きながら保護司をしている人もたくさんいます。



イメージ画像

そもそも保護司ってなに？

犯罪や非行をした人の立ち直りを支援するボランティアです。刑務所や少年院から出てきた人などに対して、社会復帰をサポートしています。

保護司制度は日本発祥で、一部の外国でも取り入れられています。そのため、英語でも「Hogoshi」と表記されます。

いつからいるの？

保護司のルーツは、明治時代に民間人が始めた、罪を犯した人が立ち直す手助けをする活動です。昭和25年から「保護司」と呼ばれています。

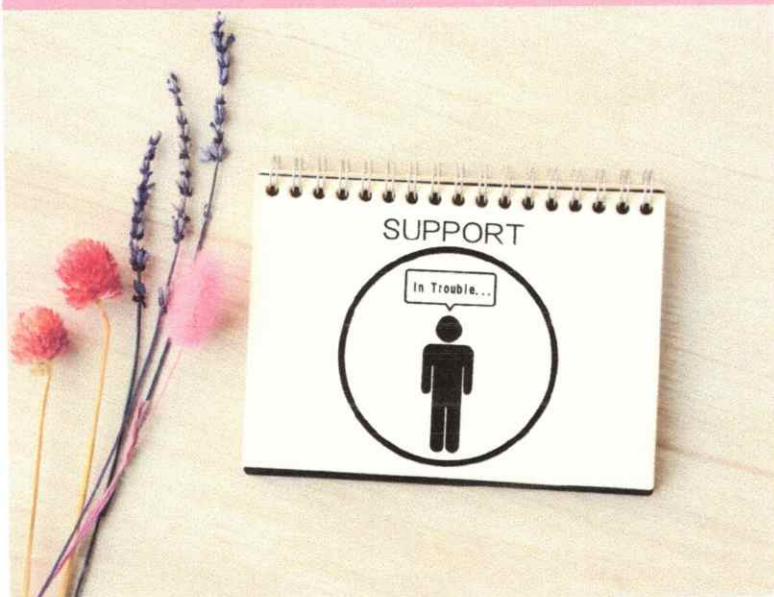
どこにいるの？

全国どの街でも保護司は活動していて、日本全国で約4万7千人います。

何をしているの？

罪を犯した人が、もう一度犯罪をしないための手助けをしています。

人は社会からの孤立などを感じると、間違ったことしやすくなるので、道を誤らないように、保護司は定期的に面談して相談に乗っています。



更生保護活動に 関わる人々

Supporter

更生保護活動とは

犯罪や非行をした人が社会に復帰し、再び同じ過ちを繰り返さないよう、地域社会で支えながら立ち直りを促すための活動で、保護司もその一部を担っています。

この活動には、保護司以外にも様々な人々が携わっています。

更生保護女性会

女性のみで組織され、地域社会の犯罪・非行の未然防止のための啓発活動を行い、青少年の健全な育成を助け、犯罪をした人や非行のある少年の改善更生に協力することを目的とするボランティア団体です。

BBS会

正式名称は、「Big Brothers and Sisters Movement」でBBSはその略称です。「兄貴」や「お姉さん」のような立場で、子どもや若者一人ひとりに寄り添い、共に成長していくことを目的としたボランティア団体です。

協力雇用主

犯罪や非行をした人の立ち直りや支援を目的に、刑務所や少年院から出てきた人を雇用する民間の事業主です。

保護観察所

法務省が設置する行政機関で、犯罪や非行をした人に対して、保護観察という制度を通じて更生支援を行います。具体的な役割は、保護観察の計画作成、保護司の指導・監督、裁判所への報告などです。

更生保護施設

刑務所や少年院を出所・出院した人、または保護観察中の人で、すぐに自立して生活できない人に、一定期間、住む場所や食事を提供して、自立を支援する施設です。埼玉県内には、さいたま市に1か所あります。

法務省

更生保護の推進において、法律や予算を整備し、関係機関と連携することで、更生保護制度の円滑な運営を担っています。その目的は、犯罪や非行をした人が社会に復帰し、新たな人生を歩めるよう支援すること、ひいては社会全体の安全と安定に貢献しています。

Next page / 「立教大学BBS会
インタビュー」

立教大学BBS会



○BBS会 Profile

- 2023年設立のサークル
- 昨年度は約40名の学生が所属し、現中心メンバーの3年生が3代目
- 昨年は主に新座キャンパス周辺で活動、今年は池袋キャンパスでも活動予定
- 独自活動として、地域生活定着支援センターにて調査を行っている。

○インタビュー参加者

- 立教大学BBS会
学生：福祉学科3年天明さん
心理学科3年橋向さん
顧問：掛川先生
- 朝霞地区保護司会(栗原、高橋、小田)
- 保護司会事務局(須藤、山本)

BBS会発足の経緯とサークルメンバー

学生▼ 私たちは発足後に加入したため、又聞きなのですが、顧問である掛川先生の講義に立教大学出身の東京保護観察所の観察官がゲストスピーカーとしていらっしやいました。その際、BBSの活動のお話があり、興味を持った学生が開設に向けて動き出したのがきっかけと聞いています。

先生▼ 社会福祉学や心理学などを専攻している学生が多いです。設立メンバーは、今年3月に卒業して、さいたま保護観察所へ就職した学生もいます。今、ちょうど新入生歓迎の時期で、声をかけているところですよ。

事務局▼ 他大学との交流はいかがですか。

学生▼ 交流はありますが、その繋がりに個人差がありますね。例えば、他地区のBBS会が企画したイベントや、研修先で知り合って連絡先を交換することもあります。今の4年生は、他大学の学生と一緒にチヨ

コレートを作るなどの交流もあったと聞いています。

活動内容と感じていること

学生▼ 昨年は、発足して間もないこともあり、自分たちで企画した活動よりも、他から声がけいただいた活動に参加することが多かったですね。例えば、朝霞地区BBS会とはバーベキューやレクリエーションで一緒に過ごさせていただきました。また、埼玉県BBS連盟主催の大宮地区と埼玉大学BBS会共催の餃子パーティーにも参加しました。地域貢献活動としては、豊島区保護司会の社会を明るくする運動に参加しました。





事務局▼サークル活動を始める前と後で、何かギャップはありましたか？

学生▼いわゆる非行を起こした少年・少女と直接関わるボランティアが多いのかな、というイメージでしたが、少子化の影響もあるのか、これまでの活動で直接少年と関わったことは一度もなく、BBS会同士の交流や、地域イベントのお手伝いなどが多かったです。そこは、正直、思っていたのとは少し違いましたね。一方で、研修などでは、少年の更生に関する実情や、更生保護の関係者を知ることができたのは、サークルに入ってから良かったところです。

先生▼実は、ともだち活動の実績は1件あります。立教大学BBS会は、女子学生が9割を占めており、募集が男子学生限定となると男子学生にしか声をかけられませんでした。ともだち活動に積極的に取り組むことが目標ではありますが、相手のあることなので、こちらの希望だけで実現できない難しさがあり、私たち自身で何ができるのかを模索している段階です。

—BBS活動の傾向

先生▼全国的にもBBS会では、子供たちの学習支援を行う会が多くなっているようです。直接非行とは関係ないですが、ともだち活動が減る中で幅広く活動対象としています。学生BBS会として、地域の子供との関わりが結果的には、非行防止にもつながると意味づけることで学生BBS会らしい活動になればと考えています。

保護司▼これまで担当した少年の中には、学校入学後に授業に遅れたことがきっかけで、非行に走り、保護観察所のお世話になった子がいました。BBS会での学習支援が、非行防止につながり、子供の成長の機会になげられるかもしれませんね。

—今後の課題

先生▼学生BBSは、活動の中心になる代が毎年変わるため、その世代によって交流の度合いも変わります。そのため、せっかく築いた他団体との関係性も、世代が変わることに濃くなったり薄れたりすることがあります。そこをいかに持続的に繋げていくかが、今後の重要な課題だと考えています。

—今後の活動

学生▼私たち自身で主体的に企画して、保護司や更女会の皆さんと連携した活動ができれば、それがBBS会としての独自性を産むと考えています。

また、サークル内での親睦があり深められていないと感じることもあったので、食事を開くなどサークル内の交流を深める機会を増やしたいですね。

保護司▼連携活動を行うためには、保護司や更女会の研修や社明運動にお声がけするなど、お互いを知る機会を増やしていきたいですね。また、立教大学BBS会独自の活動では、女子学生が多いBBS会であることを活かして、女子少年院との交流や協力ができないか模索

してみるのがいいかもしれませんね。

新しいことに取り組むためのアイデア出しをするには、人と話すことが近道になりそうです。

—大学卒業後の進路や将来

学生▼私は卒業後に更生保護機関で働きたいと思っています。

学生▼私は何を目指すか迷っています。

保護司▼学生のうちに、更生保護活動について知っているだけでも十分価値があります。関係する職業に就かない場合でも、いつか保護司や更女会の一員になってもえたらうれしいです。ありがとうございました。





朝霞地区保護司会のプロフィール

【団体名】朝霞地区保護司会

【活動地域】朝霞地区4市（朝霞市、志木市、新座市、和光市）

【設立年】昭和25年5月25日

【人数】65名（令和7年4月1日現在）

朝霞15名、志木11名、新座26名、和光13名

【所在】新座市野火止1-1-1（新座市役所本庁舎内）

※保護司は駐在していません。4市で4年交代制

【サポートセンター】

朝霞市大字浜崎51番地の1（朝霞市総合福祉センター1階）

【活動内容】

- ・会議、研修会：地区・支部各4回、視察研修会など
- ・その他活動：啓発活動、他団体との連携など



朝霞地区保護司会へのメッセージ

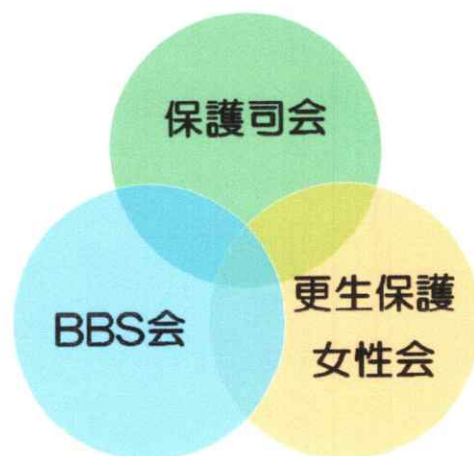
朝霞地区保護司会会長 栗原 貞一 メッセージ

朝霞地区保護司会の今後の取組について

この度、朝霞地区保護司会の会長に就任させていただきました栗原貞一と申します。4年間の任期の間、会の活動を充実させられるよう努めてまいります。

さて、保護司会では、犯罪や非行を犯した人々が、再び社会で生活していくための支援を行っています。この支援には、地域とのつながりを途切れさせず、孤独を感じさせない取組が必要だと感じております。そのため、保護司会、更生保護女性会、BBS会の三者間の連携をさらに深めることで、その支援を強化していきたいと考えております。

同じ地域に住む皆様にも、この取組への理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。共に、安全で温かい社会を築いていきましょう。



さいたま保護観察所所長 猪間 徳子 様 メッセージ

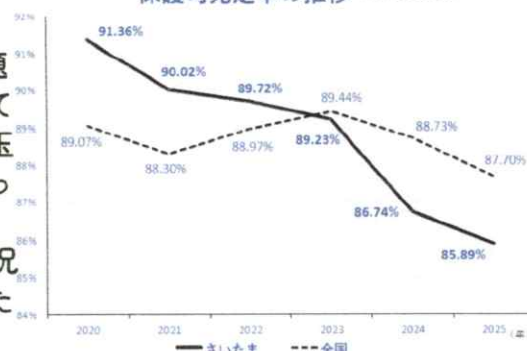
埼玉県における保護司の担い手不足の現状と当庁の取組について

保護司の数の減少と高齢化については、10年以上前から課題とされており、その担い手の確保のため様々な対策が講じられてきましたが、十分な成果が得られていない現状にあります。埼玉県における保護司の充足率は、2023年以降全国平均を下回っており、深刻さは増すばかりです。

担い手探しを保護司さんの人脈のみに頼ってはいは、上記状況を打開することはできないため、当庁においても、県庁やさいたま市の職員に対する説明資料の配布、功保会（退任保護司の会）に対する情報提供協力依頼、埼玉県商工会青年部・埼玉経済同友会等の各会合時における広報活動等を行っています。こうした働き掛けが端緒となって保護司委嘱に至った方もいらっしゃいます。

広報活動の際、現役保護司さんに御同行いただき、生の声をお伝えいただければ、更に効果が上がると思いますので、皆様にも御協力いただけますと幸いです。

保護司充足率の推移（令和1月1日現在）



1/1付	全国			さいたま		
	定員 (人)	現員 (人)	充足率 (%)	定員 (人)	現員 (人)	充足率 (%)
2020年	52,500	46,763	89.07	1,644	1,502	91.36
2021年	52,500	46,358	88.30	1,644	1,480	90.02
2022年	52,500	46,707	88.97	1,644	1,476	89.72
2023年	52,500	46,956	89.44	1,644	1,467	89.23
2024年	52,500	46,584	88.73	1,644	1,426	86.74
2025年	52,500	46,043	87.70	1,644	1,412	85.89



令和6年度朝霞地区活動報告

朝霞支部&犯罪予防部会

支部では、計4回の自主研修会を開催し、事例検討を行うほか、保護観察官をお招きして講義をしていただきました。1月の視察研修会では、立川拘置所に行き、施設見学や意見交換を行いました。

犯罪予防活動部会では、コロナ禍により令和2年以降活動のなかった「社会を明るくする運動街頭啓発活動」を7月に実施し、啓発品の配付を行いました。また、対象者の状況によって中止の場合もありますが、高齢者介護施設へ年4回訪問し、対象者とともに、施設内外の清掃や中庭の草むしりなどをする「社会貢献活動」を行っています。



志木支部&協力組織部会

支部では、担当している対象者への面接の仕方や悩みなどについて意見交換し、保護司活動に活かせる自主研修会を開催しています。7月の「社会を明るくする運動街頭活動」では、香川市長や中学生と、啓発品の配布を行いました。その他、市内中学校の入学式・体育祭・卒業式への参加や、意見交換会、作文コンテストへの応募依頼、出前講座を行っています。

協力組織部会では、協力雇用主の開拓、BBS会との連携、更生保護女性会との連携に力を入れていきます。特に新設された立教大学BBS会とも連携を図ります。一人でも多く保護司が増えるようにしていきますので、保護司皆様にさらなる協力をお願い申し上げます。



新座支部&総務部会

支部の自主研修会では、退任された4名の先輩保護司を迎えて、グループ討議を行ない、日頃の更生保護活動の悩みや問題点などを話し合うことで、更生の手助けをすることの難しさを改めて痛感しました。その他には、新座警察署生活安全課長による「市内の犯罪発生状況」の講義や新座市長による「市政報告会」、支部保護司による「経過報告書の記入例」などの自主研修会を行いました。県外視察研修では、東日本成人矯正医療センターと更生保護法人以德会を視察し、知識と親睦を深めました。

総務部会では、掲載内容や発行目的の見直しを行ない、関係機関の内容に限らず、一般の方にも分かりやすい内容を掲載することを話し合いで決定しました。



和光支部&研修部会

支部の自主研修会では、大津市の事件を踏まえ、保護司活動の安全確保を軸に研修を行いました。今後は対象者への複数担当制や相談しやすい環境づくり、面接場所の確保などに取り組みたいです。

研修部会では、県外研修や更生保護女性会との合同研修を開催しました。県外研修は、前橋刑務所の参観と足利学校などを見学、各支部保護司と親睦を深めました。また、更生保護女性会との合同研修会では、対象者との面談時に対応できるよう県男女共同参画推進センター講師から「DV、デートDV」について学びました。今後も事務局の支援を受けながら、保護司間の交流と課題についての研修を企画し、より良い保護司活動につなげていきたいと思っています。



Next page /
「表彰、委嘱」



第71回埼玉県更生保護大会表彰者一覧



法務大臣

芳野 繁信

全国保護司連盟理事長

大竹 敏雄 小寺 明美 富岡 健治 山崎 正明

関東地方更生保護委員会委員長

高石 光治 松山 由紀

関東地方保護司連盟会長

浪間 兼三 星野 令光

さいたま保護観察所長

伊藤 久峰子 今泉 良隆 上田 昭憲 大熊 正 荻野 高史
小日向 一明 佐藤 明広 陶山 憲雅 瀧島 浩司

埼玉県知事感謝状

細田 和子

※氏名順

令和6年度 新任保護司、退任保護司一覧

新任保護司

〈朝霞〉 營野 英明
〈新座〉 荒井 邦彦
〈和光〉 藤田 雅彦

退任保護司

〈朝霞〉 相澤 誠一 飯倉 昇明 奥田 京子
須田 忠夫 千綿 マリ子
〈志木〉 國分 学 高田 裕道 濱岡 建夫
〈新座〉 井口 輝雄
〈和光〉 富澤 勝 和嶋 美和子

この冊子に関するお問い合わせ

朝霞地区保護司会総務部会事務局



新座市役所福祉政策課



埼玉県新座市野火止1-1-1



048-424-4693



fukushi@city.niiza.lg.jp

